

# 第16回熊野川の総合的な治水対策協議会 猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

---

国土交通省 近畿地方整備局  
紀の川ダム統合管理事務所  
平成30年11月30日

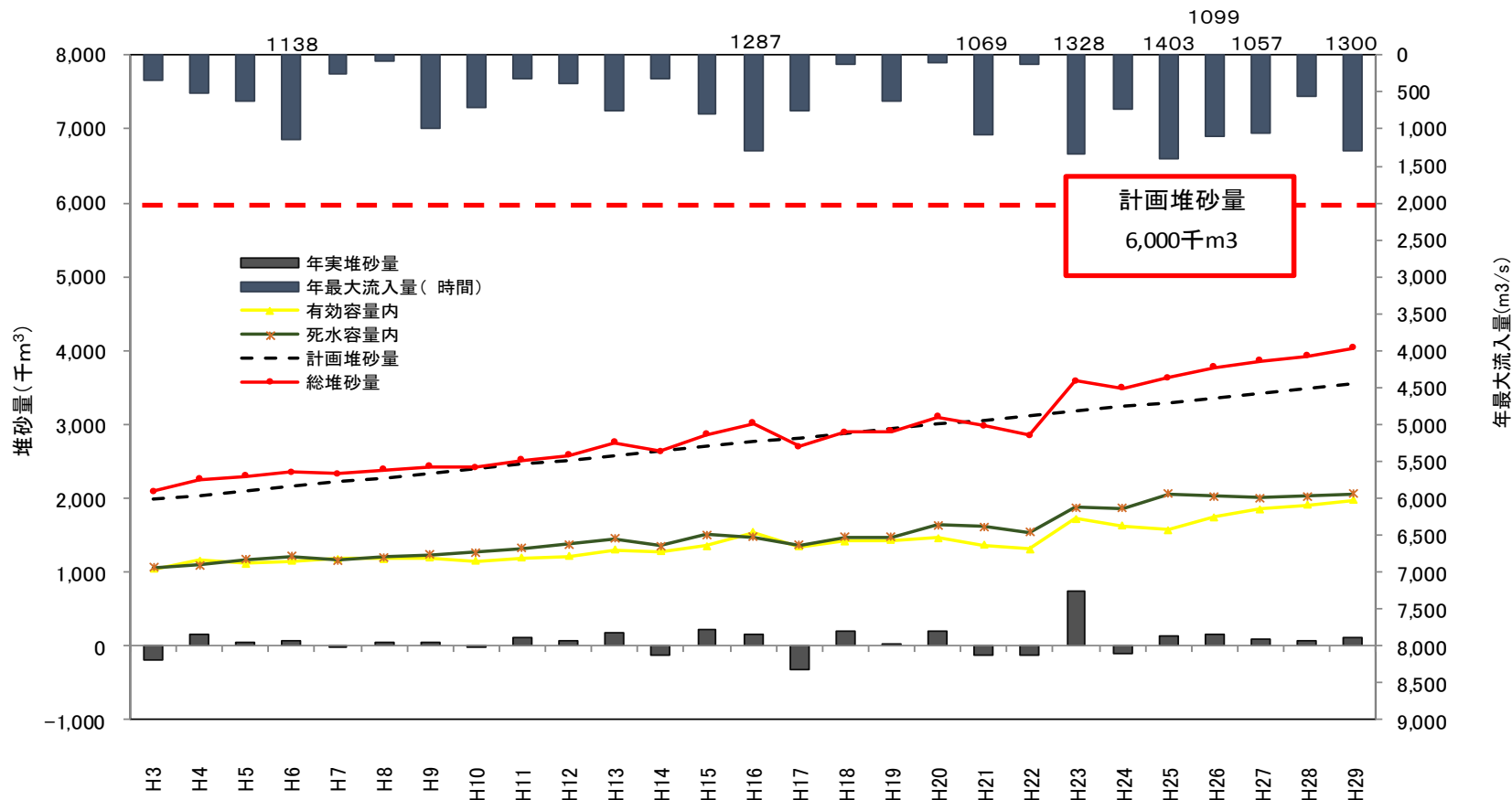
# 猿谷ダムの堆砂状況と対応策について

## ●平成29年度末時点の堆砂状況

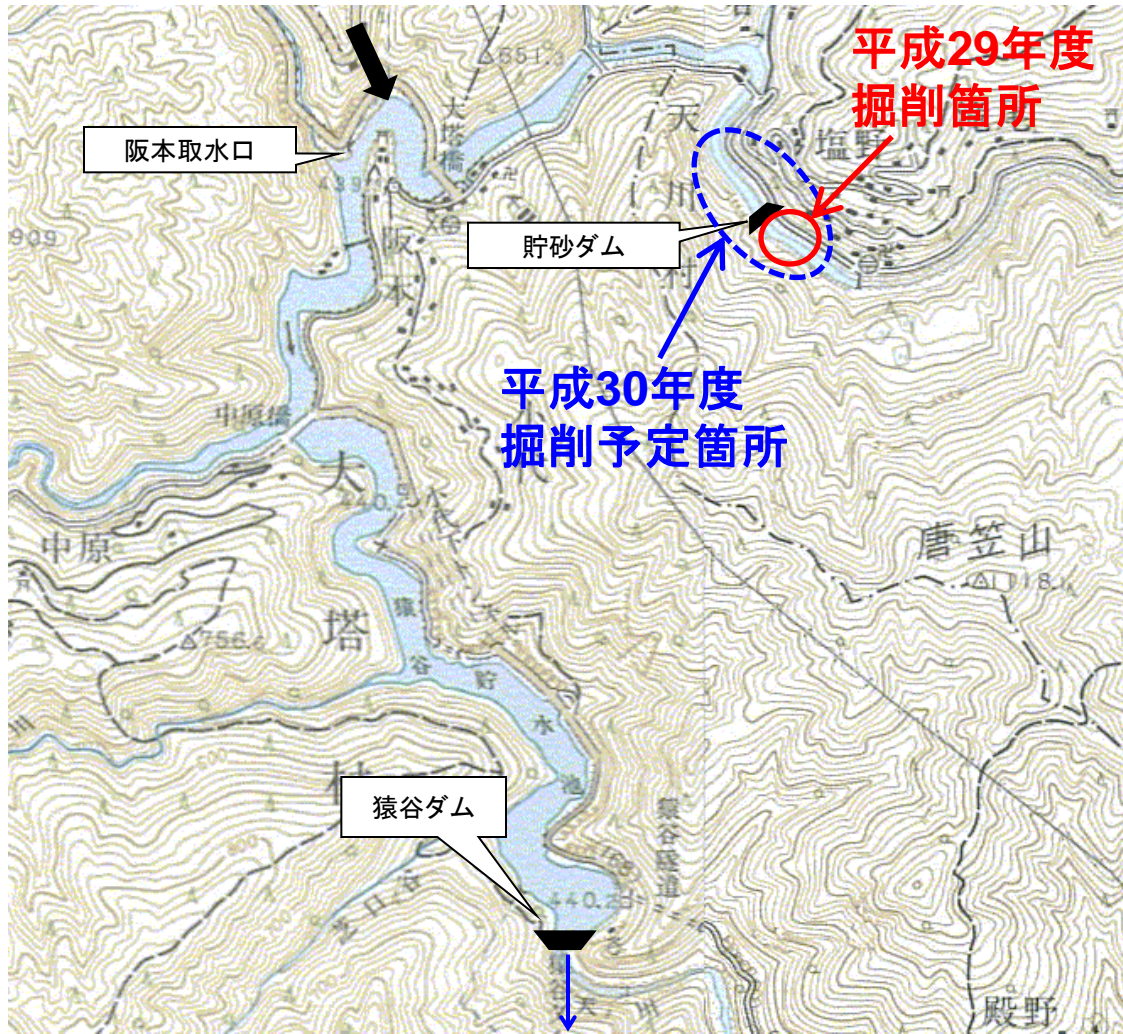
昭和33年から管理を開始。現在、総堆砂量は4,033千m<sup>3</sup>、平成29年度末時点の堆砂率は67.2%となっている。(堆砂測量は、音響測深機による深浅測量を毎年実施) 現在のところ、概ね計画どおりの堆砂率と見ているが、平成23年度以降は、計画堆砂率を多少上回っている状況である。

## ●堆積土砂対策

平成29年度は貯砂ダム上流付近で約3,700m<sup>3</sup>の堆積土砂掘削を実施。平成30年度も引き続き貯砂ダム上流付近で約2,000m<sup>3</sup>の堆積土砂掘削を実施する予定。なお、施工時の濁水発生については十分配慮し、関係機関と協議の上取り組む。

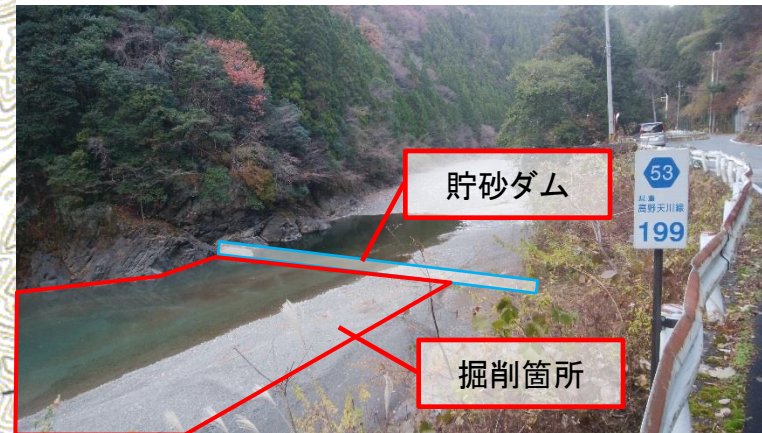


# 【参考】掘削箇所付近の状況



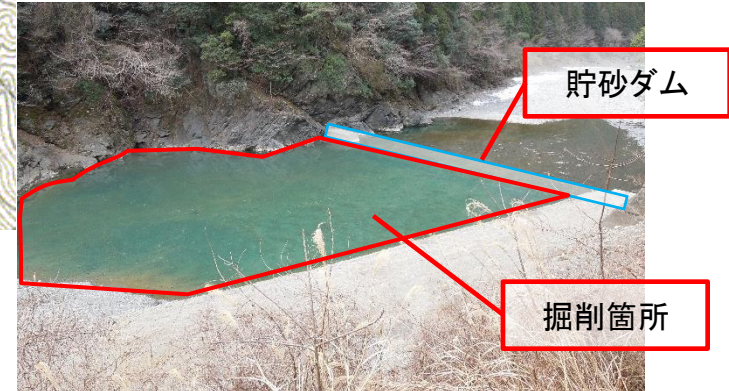
- ・平成29年度に貯砂ダム上流付近にて約3,700m<sup>3</sup>堆積土砂を掘削。
- ・今年度も引き続き貯砂ダム上流付近で約2,000m<sup>3</sup>の堆積土砂掘削を実施予定。

掘削前状況



撮影日:平成29年12月5日 貯水位 約421.1m

掘削完了状況



撮影日:平成30年2月22日 貯水位 約421.3m